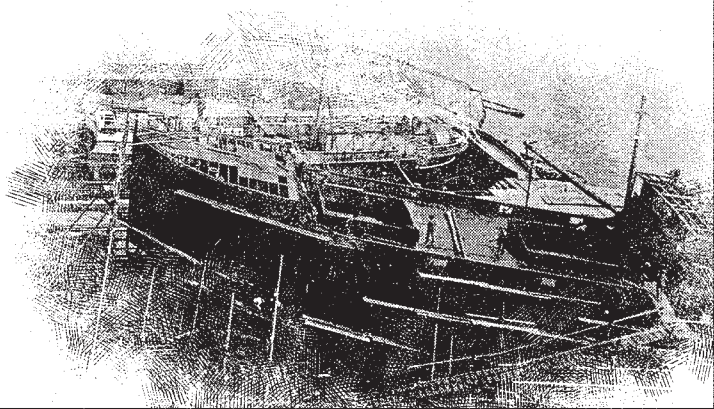
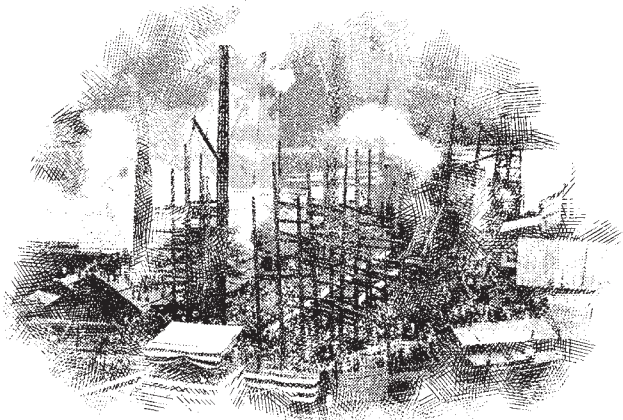


第3章

鈴木商店

金子直吉の大号令と造船業への進出



鈴木商店にも
大戦の情報はいち早くもたらされた



金子さん
大変です！
ついに欧州で
戦争勃発です！

鈴木商店は
世界中に若手社員を派遣
独自の通信網を構築し
毎日世界中から電報が
届けられた



よーっし
まずはロンドンの
高畑に電報を打て！
この戦争は長引くぞ

「BUY ANY STEEL,
ANY QUANTITY, AT ANY PRICE」
(鉄と名のつくものは
何でも金にとめをつけず
いくらでも買いまくれ)や！

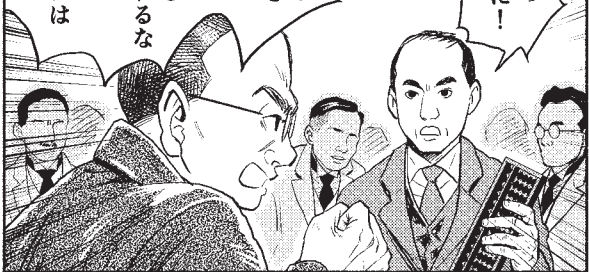
そして付け加えろ
高畑に一切の裁量を
任せる



会計主任の
日野誠義くんは
いるか？
はいっ
ここに！

今日以後
鈴木店の信用と財産とを
十分に利用してできるだけ
金をこしらえ極度の融通を
図ってもらいたい
いかに行き詰まるとも
自分の戦鬨力を鈍らせる
ようなことは言ってくれな
盲滅法でまっしぐらに
前進じゃ！
いよいよ立ち行かぬ時には
俺だけにそつと言え

鈴木が大をなすのは
この一挙にある！



しかしこの戦争は
すぐ終わるとの
見方がありますが
……

世界各地から
送られてくる
鈴木若者たちの
情報を信じる
そのために
神戸高商
(現・神戸大学)卒の
精鋭を入社
させとるんじや

日本の財閥でも
短期終結の見方は
根強くあつた

鈴木は買って
いるらしいぞ
あれはアホだな

所詮個人商店の
成り上がりもんじや

わしは撞取引で
空売りに失敗して
痛い目にあつた
あれ以来単純な投機は
やらんと決めて
いいか 鈴木商店の
情報はどうも早い
そして実需に基づいて
おる

ロンドンの高畑が
調達した鉄で三菱造船所に
一万トンの船を三隻発注じや
他の造船所にも発注するぞ
鈴木船で世界中に必要な
物資を届ける

そして……
鈴木でも船を作るぞ!

おおっ……

正確な情報に基づいた
金子直吉の策は当たり前
短期終戦を見込んでいた
財閥も考えを改めざる
をえなかつた

ばかもん!
鈴木の情報
は恐ろしく正確で
我々よりも
早いじゃないか
動きをして
損をするとは
何事だつ!!

申し訳
ありません

ぬぬぬ……金子直吉
あの渋沢さんが
一目置いただけの
ことはある

宣言した通り
金子直吉は造船のため
準備を進めていた





はっ！

さすがは
松方さんじゃのう
ようし、辻
ご説明差しあげろ



金子さんがそう
仰るといふことは……
もう計画が
あるのでしょうか？



実は、相生の町長の
唐端清太郎さんから
相生（現在の相生市を
「西の神戸」にした）と
金子さんのところに
相談がありました

相生ですか
播磨造船所
ですね？

そうです
自分たちで
播磨造船所を
立ち上げたものの
いかんせん造船業は
金がかかります
資金繰りに困って
鈴木に引き受けて
欲しいというんです

実際に見に
行ったのですが
これがなかなかの
良港で……



松方さん
どうじゃろうか

いや実に
綿密な計画
さすが
鈴木商店です
金子さんの所には
よい技術者が集まりますね
共に日本を世界に誇る
造船大国に育てて
いきましよう
いくらでも助言させて
もらいますよ

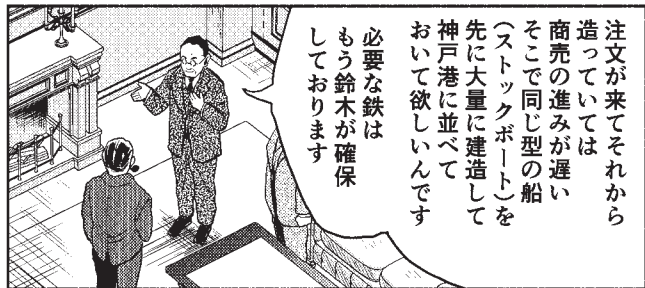


引き受けるからには
拡大して成功させたい
ついては
この山を崩して
ドックにしたいんです

ありがたいっ！
では御礼に
わしから
提案があります

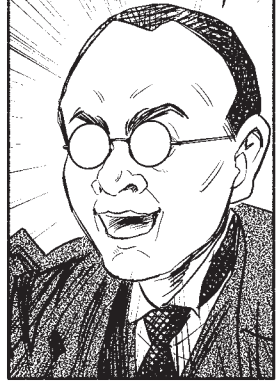
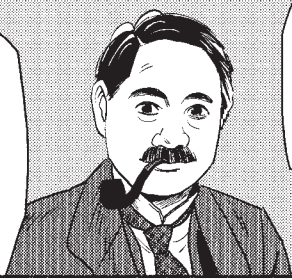
提案……？

注文が来てそれから
造っていいは
商売の進みが遅い
そこで同じ型の船
(ストックポート)を
先に大量に建造して
神戸港に並べて
おいて欲しいんです
必要な鉄は
もう鈴木が確保
しております



そして松方さんには
是非ロンドンに
旅立っていただきたい
鈴木商店の一室を
お貸ししますので

そこでロンドン
支店長の高畑と共に
大英帝国相手に
売りまくって
いただきたい！



それはまた斬新な発想だ
是非ともやりましょう

ロンドンでは鈴木商店の
世話になりますよ！



こうして
鈴木商店は本格的に
造船業に乗り出した

辻っ！
松方さんの
お墨付きももらった
思いつきりやるぞ

はいっ
まずはドックの
拡張からですね

そうじゃ
しかしもっと先も
見通すんじや





技術者に至っては
二、三名という
ありさまであった

当時の相生は
町政が施行された
ばかり
造船所の工員は
二〇〇名程度



播磨造船所を核として
相生自体を大きくする
そういう発想を
持ちなさい

うはいっ
しかし……



ドックを拡張して
工員が増えたら
その家族の分も
人口が増える
必要な物資の量も
施設の種類も増えて
でっかい街ができる

鈴木の若手社員の
北村徳太郎を
うまく使ってくれ
全国から
必要な人材を
確保するんじゃ!

わかりました!



おお
頼もしい援軍が来た

北村徳太郎
(のち、運輸大臣、大蔵大臣)



続々と優秀な人材が集い
造船所を核にして
相生の町は発展していく

この
大本百松の名に
かけて拡張工事を
しっかりとやらせて
いただきます!

オー

大本祖創業者
大本百松



しかし
あちこちから
聞きなれん言葉が
聞こえますなあ

ははは
全国から人材が
集まっていますからね
この町は一気に
一万人の町になる
住宅を増やして
病院、そして幼稚園も
つくりますよ

実際にこのとき
多くの人々が
遠くから相生に
やってきた

のちの通商産業大臣で
優秀な技術者である
横尾龍も長崎から
大勢の人材と共に
事業に参加していた

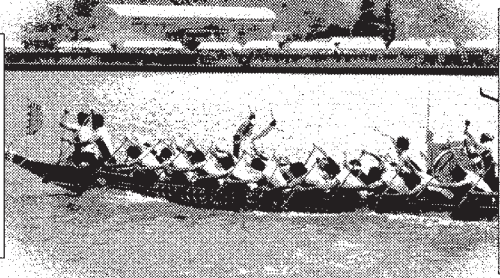


やあ
大本さんどうも
どんどん賑やかに
なりますね

おお、横尾さん
あなたと一緒に
長崎から来た連中が
「ペーロン」を
やりたいと言うとる
のを聞いたんだが
一体なんじゃ？

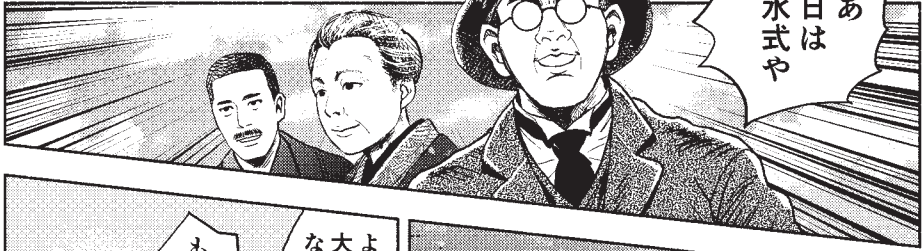
ああ
長崎の祭りですよ
ここも港町ですから
できるといいですね

大正一（一九二二）年
播磨造船所の
長崎出身者が集まり
ペーロン祭が初開催
される

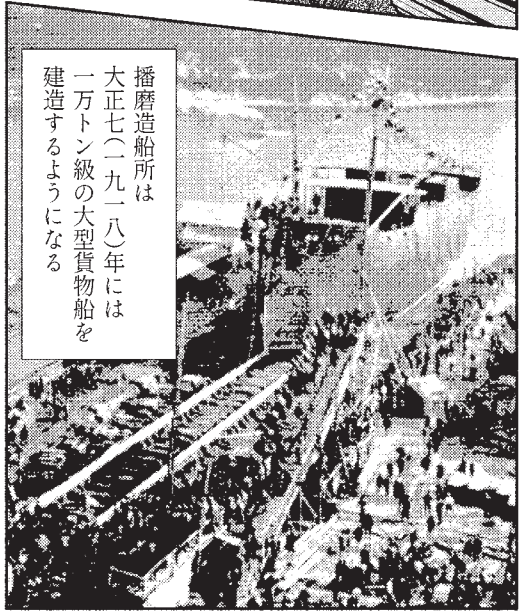


現在も続く
相生ペーロン祭
の起源である

さあ
今日は
進水式や



播磨造船所は
大正七(一九一八)年には
一万トン級の大型貨物船を
建造するようになる



ようやく
大型船を作れるように
なりましたね

もっとやるぞ



播磨造船所は
一万トン型一五隻、
五千トン型六隻、
二千から三千トン型
一〇隻、

合計三一隻
二〇万重量トンの
大型鋼船を建造
する!!

おおお

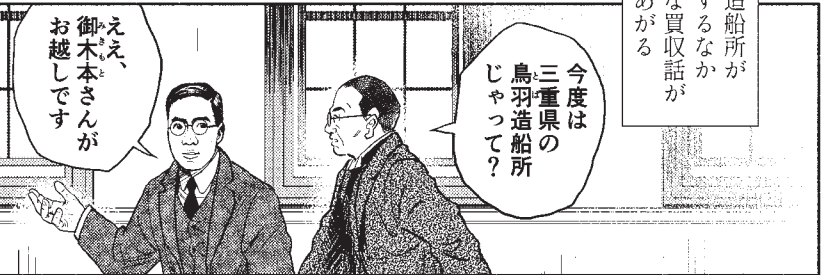


播磨造船所が
奮闘するなか
新たな買収話が
もたらがる

今度は
三重県の
鳥羽造船所
じゃって?

ええ、
御木本さんが
お越しです

鳥羽造船所は
旧鳥羽藩士が設立したが
廃業寸前に追い込まれ
地元財界が奔走していた
そして……



真珠王として知られ
地元産業の衰退を憂いた
御木本幸吉が
地元財界を代表し
金子直吉に請願する
こととなった

金子直吉さん
この鳥羽造船所の
立て直しをお願い
できませんでしょうか？

御木本さんが
頭を下げられた！

天皇陛下にも
頭を下げないと
言われたお人が……

頭を下げる
必要はありません
日本のためや
喜んで引き受け
させてもらいます

金子さん……
噂以上の大人物や
ありがとうございます
ありがとうございます……

こうして鈴木商店は
鳥羽造船所を買収する

辻、播磨造船所が
軌道に乗ってきた
ところ悪いが
次は鳥羽造船所の
経営を任せたい

……………
条件があります

鈴木は造船に
進出しましたが
エンジンや発電機などの
船舶用の電気機器はまだ
自前ではありません
これらも国内で自給
すべきと自分は
考えます

それを
鳥羽でやるのが
条件か……………?

さっすが
辻湊じゃ！
素晴らしい発想
どんどん
やったらええ
日本は今後
電気機械に強く
ならねばならん
さっさと鈴木を救う
事業になる！

これが後の神鋼電機
(現・シンフォニア
テクノロジ)の
出発点となった

よしっ
鳥羽では常に
新しい挑戦を
続けていくぞ！

……………うん？
君は何を
書いているんだ？

この風景が
好きなんですよ
うまく文章で表現
したくて……



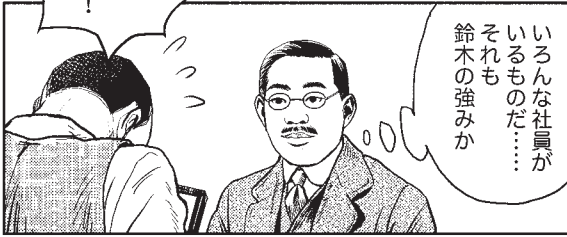
あっ
これは辻工場主！
すみません
これは社内報に
載せる文章
でして……

いや
謝るのはこちらだ
邪魔をしてすまない
それも仕事だ
続けなさい



はい
ありがとうございます！
ごきげんます！

いろんな社員が
いるものだ……
それも
鈴木**の**強みか



のちに
日本を代表する
推理作家となる
江戸川乱歩の
若き日の
姿であった

鳥羽造船所の
社内報「日和」を担当
していたこの社員
名を平井太郎という



鈴木商店はその後も
大阪の檜丸造船所
浪華造船所を
次々と買収する

そして建造した船舶は
鈴木傘下の帝国汽船の
船団に組み入れられ
世界中を駆け巡る
ことになる

